

## 評価シート 様式

取組名	「感性価値クリエイター」を核としたモノづくり企業の新商品創出プロジェクトと次世代クリエイター育成プロジェクトとの融合化による、「広島発」の新たな官民一体型の戦略的モデル構築を通じた創発敵地域づくりプロジェクト		
実施団体名	(有)SOHO総研	対象地域	広島県
(代表団体名)	—	推薦団体名	広島市、広島県

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	「感性価値クリエイター」を核としたモノづくり企業の新商品創出プロジェクトと次世代クリエイター育成プロジェクトとの融合化による、「広島発」の新たな官民一体型の戦略的モデル構築を通じた創発敵地域づくりプロジェクト		
実施団体名	(有)SOHO総研	対象地域	広島県
(代表団体名)	—	推薦団体名	広島市、広島県

総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○先導性・モデル性 成功報酬型取引により中山間地域等の生産者と都市のクリエイターが組み合わせり付加価値の高い商品を生み出す仕組みづくりとしてモデル性を評価できる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、手法(成功報酬型モノづくりプロジェクト)、人(弟子入り型即戦力養成プロジェクト)、場所(創発的集積拠点)が有機的に組み合わせることにより、一産業にとらわれることなく相乗効果的に新たな商品を生み出し、地域活性化につなげるというモデル事業であり、他の地域に見られない先進的取組として高く評価できる。以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降については、事業の本格展開に向けた仕組の確立を図るべきである。 具体的には、取組①「成功報酬型モノづくりプロジェクト」については、中山間地域の特産品等の発掘及び地域特性の把握を行うこと。また、一分野にとらわれない新たな商品開発に向けたルールの確立に重点を置いて実施すべきである。取組②「弟子入り型即戦力養成プロジェクト」については、本年度事業効果が明確でないことから、単にカリキュラムを長期化するのではなく、現状の問題点を十分に検証した上で、新たなカリキュラムの作成を行うべきである。③「創発的集積拠点公開実験」については、①、②を具現化する場としての役割を担うとともに、事業の自立化を見据えた取組を行うこと。